

令和3年度 かな福祉専門学校 学校関係者評価の結果報告

令和4年1月26日（水）に本校ゼミ室において令和3年度第2回学校関係者評価委員会が開催されました。以下、令和3年度学校関係者評価の概要を報告致します。

【かな福祉専門学校 学校関係者評価委員会委員】

氏名	所属
亀田 由美	神川町総合福祉センター 所長
上松 巧	特別養護老人ホーム千鳥の丘 施設長
岡野 秀隆	介護老人保健施設かみかわ 職員 介護福祉士 本校卒業生
小峰 義明	かな福祉専門学校 校長
川端 博	かな福祉専門学校 教務主任

1 学校関係者評価委員会次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶（学校の近況等）
- (3) 授業見学 中止（新型コロナ感染拡大防止のため）
- (4) 令和3年度学校自己評価の結果報告について
- (5) 質疑・意見交換(改善方法等)
- (6) 閉会

2 学校自己評価の結果報告に対する学校関係者評価の概要

(1) 教育理念・目標

取組状況指標平均は、3.4である。

学校の教育目標や特色は、学生へのアンケートの結果より概ね学生に周知されている。但しコロナ禍で来校が困難な保護者には充分には周知されていない。学生層が多世代にわたり、保護者を必要としない学生も多いが、保護者や家族が来校しやすい環境づくりや、ホームページの工夫、お知らせなどを通して、保護者や地域にも学校の教育目標や特色を周知していく。

（平成3年度入学式後に保護者説明会を計画していたが、コロナ禍で断念。）

(2) 運営

取組状況指標平均は、3.1である。

学校は適切に運営されているが、小規模校ゆえに、一人ひとりに多様な仕事が任されているため分掌組織の見直し、仕事の効率化を図る必要があ

る。

学生募集等の情報公開、周知活動はホームページやSNS等が活用されている。今後も学校自己評価をはじめ学校運営に関する情報を積極的に公開し説明責任を果たしていく。

(3) 教育活動

取組状況指標平均は、3.2である。

教育到達レベルや学習時間は明確にされ確保されている。カリキュラムの見直しや施設実習等の位置づけ等の評価もほぼ適切である。

職員の能力開発のための研修の指標が2.6とやや低い結果になった。コロナ禍の中、多忙で時間的なゆとりの欠如、校外研修の機会の減少という実情がある。今後、状況に応じた研修体制を確立し、校内研修、ウェブ研修を充実するとともに、校外研修にも積極的に参加し資質の向上に努めていく。

(4) 学修成果

取組状況指標平均は、3.3である。

就職率100%、退学者0名を目標に掲げ、学生一人一人に応じた指導・支援を行っている。国家試験については、補講等も11月から行い資格取得率の向上に努め、大きな成果を得た。今後も学生の学習状況を把握し更なる対策、指導法の工夫改善を行う。

卒業生の把握、卒業生のキャリアの活用については、やや低い評価である。卒業生については、今後関係施設と連絡を密にして卒業生の把握に努めていく。

(5) 学生支援

取組状況指標平均は、3.0である。

新入生に対する本校独自の奨学金給付や指定校推薦による入学金免除等の施策で経済的な支援が行われており、指標も比較的高い。学生の経済状況については個々に把握し支援が必要な学生には、個別相談を実施した。

卒業生に対する支援は、学校での相談や電話相談に応じているが、卒業生のキャリアアップについては、支援体制がやや不十分である。

高校との連携は、高校訪問、インターンシップ、出前授業等を行っているが、コロナ禍のため、インターンシップ事業は実施できなかった。

(6) 教育環境

取組状況指標平均は、3.1である。

介護用ベッドや備品について、順次計画的に最新のものを導入する計画である。令和3年度は、介護用電動ベッドを新たに2台設置することができた。

防災体制は消防署と連携し整備されているので高い評価になっている。

学生には、個別面談を定期的に3回、加えて必要に応じた面談も行い、きめ細かな支援を行った。

(7) 学生の受け入れ募集

取組状況指標平均は、3.7である。

高校生の介護福祉士希望者が減少する中で、令和4年度一般学生は前年度より大幅に増え、募集活動については健闘しているという思いはある。しかし、職業訓練生の減少等で定員確保ができていないことは、学校経営上大きな課題である。学生募集を令和4年度の重要実践課題に据えて検討する必要がある。

(8) 財務

取組状況指標平均は3.1である。

学校の財務は、社会福祉法人神流福祉会が適切に行っている。自己評価における45の「財務の安定」の数値は、定員確保ができていない状況を鑑みての結果である。財務の情報公開は、神流福祉会が学校を含めて行っている。

(9) 法令等の遵守

取組状況指標平均は3.4である。

指標の全てが、ほぼ適切を示している。個人情報保護の観点からロッカー等の施錠、データ管理の厳格化（パスワードの導入等）を徹底していく。

(10) 社会貢献・地域貢献

取組状況指標平均は、2.9である。

コロナ禍のため、予定されていた計画が中止になり、残念だった。今後も地域に開かれた学校として、行事の精選、PR方法などについて改善し、地域社会に貢献していく。